

科目名	屋内電気配線C A D							年度	2025
英語科目名	Indoor Electrical Wiring CAD							学期	後期
学科・学年	電子・電気科 電気工事コース 2年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	篠崎 知弘	教員の実務経験		有	実務経験の職種		電気技術者		
【科目の目的】									
「積算」の授業と連携しながら、jw-cadを使用し卒業課題の作成を行います。「見やすくて正確な図面の作成を意識」させ、自分の考えた設計を図面で表現し、構築できるようになることを目指すします。									
【科目の概要】									
電気工事における工事図面や提出書類の作成をパソコンを使って習得する事が出来ます。電気設備図面は jw-cadソフトを利用し、積算の授業で作成したデータと併せて卒業課題として提出します。									
【到達目標】									
A. JW-CADを利用した電気設備図面の作成について理解している B. 表計算データの重要性を理解している C. 分電盤の重要性を理解している D. 縮尺の重要性を理解している E. 図面作成を行うことが出来る									
【授業の注意点】									
授業中の私語や授業態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。遅刻、欠席、課題提出の遅れや未提出は、評価の対象とする。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	JW-CADを利用した電気設備図の作成を深く理解し積極的に取り組んでいる	JW-CADを利用した電気設備図の作成を深く理解している	JW-CADを利用した電気設備図の作成が重要だと認識している	JW-CADを利用した電気設備図の作成がある程度は重要だと認識している	JW-CADは関係がないと考えている				
到達目標 B	表計算データの重要性を深く理解し積極的に学んでいる	表計算データの重要性を深く理解している	表計算データが重要だと認識している	表計算データがある程度は重要だと認識している	表計算データは関係がないと考えている				
到達目標 C	分電盤の重要性を深く理解し積極的に学んでいる	分電盤の重要性を深く理解している	分電盤が重要だと認識している	分電盤がある程度は重要だと認識している	分電盤は関係がないと考えている				
到達目標 D	縮尺の重要性を深く理解し積極的に学んでいる	縮尺の重要性を深く理解している	縮尺の関係性が重要だと認識している	縮尺の関係性がある程度は重要だと認識している	縮尺は関係がないと考えている				
到達目標 E	図面の作成を一人で行うことができる	図面の作成をほぼ一人で 行うことができる	図面の作成をアドバイスを受けて行うことができる	図面の作成をサポートを受けて行うことができる	図面の作成ができない				
【教科書】									
日本工学院八王子専門学校オリジナルテキスト									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
課題 80% 卒業課題として授業内容の理解度を確認するために実施する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

